

闘病記文庫開設
15周年記念シンポジウム2021

新型コロナウイルス との闘い ~アフターコロナにおける 図書館の可能性を考える~

新型コロナウイルスの最新情報と、
様々な現場の生の声を聴くシンポジウム

入場無料

要事前申込(先着順)

手話通訳

あり

鳥取県立図書館の闘病記文庫は、病とどう向き合い、どう生きるかという「生き方情報」を提供し、患者の心を支え、不安を抱えている方々の一助となってきました。
開設からの15年を振り返りつつ、新型コロナウイルス感染予防の正しい情報を得るために、また、人権を尊重し、安心して暮らせる地域をつくるために、図書館に何を期待するのか、図書館とアフターコロナの未来を、共に考えましょう。



日時 令和3年 **7月10日** (土)
午後1時30分~4時

会場 **鳥取県立図書館
2階 大研修室**
(定員40名)

ライブ中継・Zoom視聴あり

※詳しくは裏面をご覧ください



景山誠二氏プロフィール
鳥取大学医学部副学部長。専門分野はウイルス感染症対策。鳥取大学医学部卒。米国保健衛生研究所、大阪大学微生物病研究所、富山医科薬科大学、金沢大学を経て、平成20年から現職。現在、鳥取県新型コロナウイルス対策専門家チームメンバーのほか、中国四国ウイルス研究会代表幹事等を務める。

基調講演

演題

「新型コロナウイルス変異株の流行とワクチン接種」

講師

景山 誠二氏 (鳥取大学医学部副学部長、鳥取県新型コロナウイルス対策専門家チームメンバー)

報告

県立図書館職員による
「県立図書館および県内図書館の医療・健康情報の15年の歩み」

シンポジウム

【テーマ】「新型コロナウイルスとの闘い
~アフターコロナにおける図書館の可能性を考える~」

【コーディネーター】 田村 俊作 氏 (慶應義塾大学名誉教授 図書館・情報学) (リモート参加)

【パネリスト】 友森 一美 氏 (乳がん患者会「あけぼの会鳥取県支部」代表)

景山 誠二 氏 (鳥取大学医学部 副学部長)

内田 真澄 氏 (鳥取県看護協会 会長)

松田 啓代 (鳥取県立図書館 情報相談課長)